



平成30年6月11日

各位

東京都八王子市美山町2161番地21  
株式会社菊池製作所  
代表取締役社長 菊池 功  
(コード番号：3444)

問合せ先 取締役経営企画部長 乙川 直隆  
電話 042-651-6093

特別損失の発生および平成30年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年4月期決算において、下記の特別損失を計上するとともに、平成29年6月14日に公表いたしました平成30年4月期（平成29年5月1日～平成30年4月30日）の連結業績予想及び個別業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、平成30年4月期において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、南相馬工場等における将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価格を回収可能価額まで減損処理することとし、減損損失236百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 通期業績予想の修正について

平成30年4月期通期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,074	20	57	82	6.65
今回修正予想(B)	5,704	△94	△111	△128	△10.42
増減額(B-A)	△369	△114	△198	△210	△17.07
増減率(%)	△6.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年4月期)	5,790	△340	△271	222	18.04

平成30年4月期通期 個別業績予想数値の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,144	94	110	8.92
今回修正予想(B)	4,859	121	28	2.29
増減額(B-A)	△284	27	△81	△6.63
増減率(%)	△5.5	28.9	△74.3	△74.3
(ご参考)前期実績 (平成29年4月期)	5,017	△228	192	15.59

### 3. 修正の理由

個別業績において、試作・金型製品は、医療機器ならびに自動車分野などの加工分野の受注が好調で売上高を伸ばしたものの、ロボット・装置等製品は、主力のマッスルスーツが前期の介護分野における補助金による導入の反動が想定より大きく、計画を下回る見込となりました。一方で、試作・金型製品は、利益率の高い事業の受注が増加し、経常利益は予想を上回る見通しとなりました。当期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益215百万円が発生した一方で、上記減損損失等の発生により、予想を下回る見通しとなりました。

連結業績において、単体業績と同様にロボット・装置等製品は、主力のマッスルスーツが前期の介護分野における補助金による導入の反動が想定より大きく、単体業績においての試作・金型製品の高利益事業の受注増加による利益率改善があったものの、計画を下回る見込となり、売上高ならびに営業利益は予想を下回る見込みとなりました。また、持分法適用関連会社各社が、災害対応遠隔操作ロボット、高度医療機器デバイス、配膳サービスロボット等の研究開発活動を積極的に推進したことで、持分法による投資損失85百万円が発生したことならびに上記減損損失等が発生したことにより、連結業績において、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益は、予想を下回る見通しとなりました。

なお、平成30年4月期配当予想は、変更ありません。

以 上